

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） 栈橋部基礎杭一本化開始

トピックス

東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路（D滑走路）建設工事は、関西国際空港、中部国際空港等、我が国の海上空港の建設に数多く用いられ実績のある埋立構造に、多摩川から流れ出る河川水の通水性を確保するための栈橋構造（ジャケット）を組み合わせたハイブリッド構造になっており、連絡誘導路橋により、現空港に接続されます。

栈橋部は、海中に打設した基礎杭、その上に据え付けられた鋼製のジャケット及びジャケット上部桁上に敷設されたコンクリート床版と舗装で構成されます。

基礎杭については、上部に据え付けられるジャケットを支えるため、頑丈な支持地盤まで打設する必要があり、約90mにも及ぶ杭の長さが必要です。

そこで、基礎杭1,165本のうち、751本については、製造メーカーによって製造された素管（約30m）を、千葉県袖ヶ浦にある一本化工場に海上運搬し、工場にて3本の素管が溶接により一本化されます。18mm～38mmという厚い鋼材で、人の身長ほどもある太さ（杭径1600mm）に製作された鋼管杭が、吊り上げられると数十cmもたわみます。

一本化した基礎杭は、岸壁から台船に積み込み、羽田海域へ海上運搬し、12月8日より現地にて打設されます。

国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

D滑走路プロジェクト推進室 ^{しげ} 四家・齋藤（穂）

住所 東京都大田区羽田空港3-5-7

メンテナンスセンターアネックス 5階

電話 03-5756-6573

HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/index.html>

東京国際空港D滑走路建設工事 基礎杭一本化 進捗状況

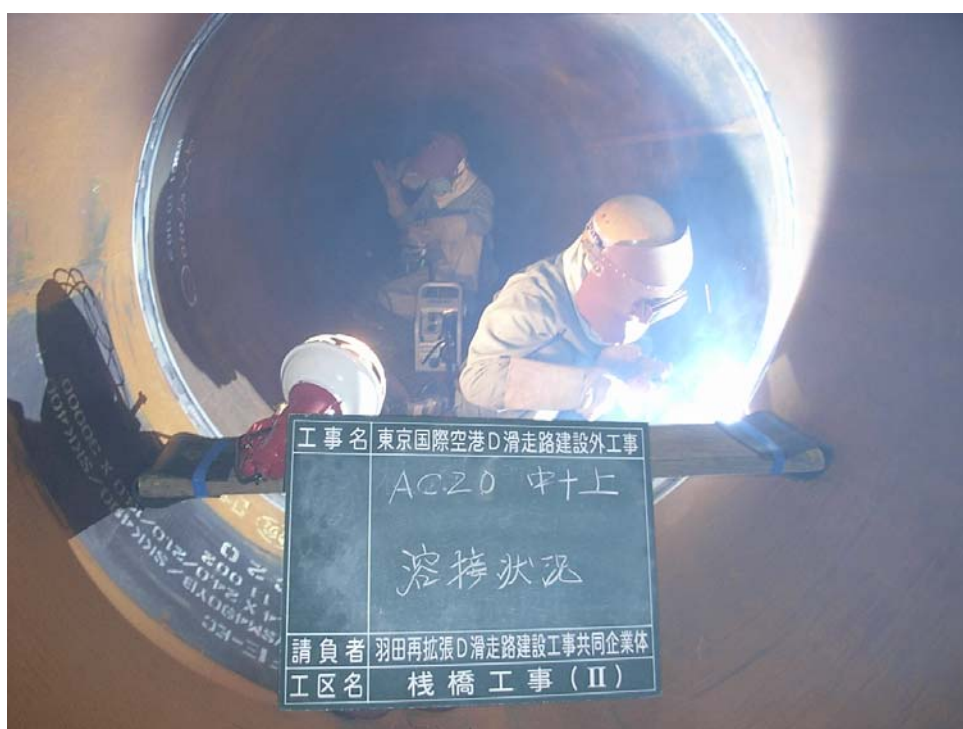
1. 棧橋部基礎杭 一本化状況

10月25日より袖ヶ浦基礎杭一本化工場で棧橋部基礎杭の一本化を開始しました。一本化した基礎杭は、岸壁から台船に積み込み、羽田海域へ海上運搬し、12月8日より現地にて打設されます。

① 素管搬入状況



② 一本化杭製作状況



③ 750 t 吊クレーンによる一本化杭吊り上げ準備



④ 750 t 吊クレーンによる一本化杭吊り上げ状況（長さ：約 90m）



⑤ 750 t 吊クレーンによる一本化杭吊り上げ状況



⑥ 750 t 吊クレーンによる一本化杭吊り上げ状況



2. 棧橋部の今後の工程（現在の予定）

- H19年 9月～ 上部・下部ジャケットの海上運搬
- H19年10月～ 上部および下部ジャケットの一体化
- H19年12月～ 工事区域にて基礎杭打設工 開始
- H20年 1月～ 工事区域にてジャケット据付工 開始予定